

講演者紹介

銀座・寺子屋こども論語塾 代表

14:55からの予定

安岡定子 (ヤスオカ サダコ)

論語に学ぶ ～論語は美しい言葉と知恵の宝庫～

講演内容

「故きを温ねて新しきを知る」「過ぎたるは猶及ばざるが如し」「一を聞いて以って十を知る」など私たちの身近には『論語』由来の言葉がたくさんあります。『論語』は古来日本人に愛され、その精神世界の根幹を作ってきました。慮りや譲る心、優しさ、やりぬく強い心、言い訳しない潔さなど、日本人の持つよき資質は『論語』の精神と多くが重なります。

『論語』は、難しい古典と思われがちですが、そんなことはありません。実はとってもシンプル。人にとって大事なものは、仁一思いやりの気持ち一という考え方で貫かれています。

大きな声で素読し、漢文独特の美しいリズムを楽しむながら、名文・名句を味わいたいと思います。

プロフィール

1960年東京都生まれ。二松学舎大学文学部中国文学科卒業。漢学者・安岡正篤の孫。論語教室の第一人者として知られ、「こども論語塾」講師として全国に23ヶ所の定例講座を持つ。著書に『はじめての論語』（講談社）『心を育てるこども論語塾』（ポプラ社）『子や孫に読み聞かせたい論語』（幻冬舎）などがある。

本学文学部中国文学科教授

13:30からの予定

高山節也 (タカヤマ セツヤ)

我が国における『論語』の招来と出版

講演内容

応神天皇の頃、王仁が『千字文』とともに招来したとされる『論語』は、その後公家による古注学のテキストとして定着し、さらに鎌倉・室町期に招来された新注学においては、『論語集註』を中心として、江戸期において四書学の一環として一世を風靡するにいたった。その間我が国で出版された

『論語』ならびにその関係書は膨大な量にのぼる。

それらについて通時的に、書誌学的な見地を交えて概観してみたいと思う。

プロフィール

1947年東京生まれ。國學院大学文学部漢文学科卒業。東京大学大学院人文科学研究科中国哲学専攻 単位修得退学。佐賀大学教育学部国語科奉職。昭和63年より二松学舎大学文学部中国文学科奉職 教授（現在）

申し込み方法

次のいずれかの方法でお申し込みください。

- ①**FAX**=下記「申し込みFAX送信票」に必要事項を記入の上、ご送信ください。
- ②**電子メール**=メール本文に氏名(ふりがな)・住所(自宅または勤務先)・性別・電話番号・所属先名をご記入の上、下記メールアドレスにご送信ください。
申込先メールアドレス: rongogak@nishogakusha-u.ac.jp

ご注意:お申し込み受付後、特に「受講票」等は送付致しません。直接ご来場ください。

FAX送信先

二松学舎大学(『論語』の学校)行

FAX 03(3261)1291

FAX送信の際には、番号をお間違えないようお願いいたします。

『論語』の学校 —RONGO ACADEMIA— (平成26年11月15日開催)

申し込みFAX送信票

	申し込み日 平成26年 月 日 ()		
ふりがな			性別 企業名・団体名 ※個人でお申し込みの方はご記入の必要はありません。
氏名			男・女
住所	自宅 勤務先	〒 —	
	※いずれかに○印をお付け下さい。		
電話番号	()	メールアドレス	@

※記載いただいた個人情報に関しましては、「個人情報保護法」に則り、適正に管理します。

お申し込みありがとうございました。